



自民党・無所属 大阪府議団だより

令和元年度12月議会において

西村ひかる議員が

少年を特殊詐欺に加担させない取り組みや 2025年大阪・関西万博における防災・減災技術の活用、 「全国豊かな海づくり大会」の大阪開催、世界遺産への 理解を深める取り組みなどについて質問しました。



これから
様々な問題の
質問を続けて
いきます

プロフィール
堺市堺区選出

昭和61年 堺市生・榎小学校・三国ヶ丘中学校・
千代田高等学校・大阪芸術短期大学卒業。
平成19年 陸上自衛隊に入隊。
平成24年 父、西村眞悟衆議院議員秘書として勤務。
平成29年 9月に実施された、大阪府議会議員補欠選挙に立候補。
平成31年 4月に実施された、大阪府議会議員選挙にて初当選。

◆ 少年を特殊詐欺に加担させない取り組み ◆

オレオレ詐欺などの特殊詐欺に加担し、 逮捕される少年が増加…府警の対策は？

特殊詐欺の検挙人数と少年の役割

Q. 西村議員 最近、SNSを通じてアルバイト感覚でオレオレ詐欺などの特殊詐欺に加担し、逮捕される少年が増えており、非常に危惧している。本年、府警で検挙した特殊詐欺の犯人の人数とこれに占める少年の人数、割合、役割について警察本部長に問う。

A. 警察本部長 特殊詐欺の検挙人数(暫定値)は240人で昨年より88人増加、このうち少年の検挙人数は92人で全体の約4割を占め、既に昨年1年間の少年の検挙人数を30人上回っております(本年10月末現在)。少年の役割は被害者の家を訪し現金などを受け取る、いわゆる「受け子」が約7割を占めております。

少年が「受け子」に利用されないために

Q. 西村議員 少年が特殊詐欺の「受け子」に安易に加担してしまうと、詐欺罪等の罪に問われ、とりかえしがつかなくなる。少年が「受け子」等に利用されないために、府警ではどのような取り組みを行っているのか。

A. 警察本部長 (SNS)ツイッター対策として「受け子」勧誘の書き込みや閲覧検索に対して「受け子で逮捕される少年が増えており、組織からは使い捨てにされる」旨の警告文の表示や高校等で非行防止教室を開催し「受け子は犯罪」の指導・啓発を行うなど、少年が特殊詐欺に加担しないよう、各種取り組みを推進しております。



◆ 2025年大阪・関西万博における防災・減災技術の活用 ◆

大阪・関西万博において日本ならではの提案を

Q. 西村議員 近年、気候変動などの影響により、世界各地で自然災害が発生している。一方で多くの災害に見舞われたわが国では、台風、地震など、自然災害に対する優れた技術により防災・減災対策が進み、ノウハウが蓄積されている。いのちを守り、安全・安心に暮らせるための提案として、これらの技術が活用される万博を望むが、吉村知事の所見は。

A. 知事 大阪・関西万博の会場を災害に強い、安全・安心な会場とすることが日本の防災・減災技術の発信につながることを認識。防災・減災をはじめ、我が国が有する技術やノウハウを世界に発信し、SDGs達成に貢献する万博となるよう、全力で取り組んでいきます。



◆ 災害の記録を風化させない ◆

今後、記録に残る被害をもたらした台風には、名称の検討を要望

Q. 西村議員 昨年9月に大阪を襲った台風は「今年の台風21号」と呼ばれているが、先人は大災害に襲われた後、必ず、記憶や記録、また後世に語り継ぐために名前を付けている。私は今後、記録的な被害があり、歴史に残るような災害発生の場合には、名称を検討すべきと思う。台風第21号をはじめ、災害の記録を風化させないための取り組みは。

A. 危機管理監 昨年の大阪北部地震や台風21号の教訓を府の災害対応力の強化につなげるため「南海トラフ地震対応強化策検討委員会」を設置、また府HPで「大阪府を襲った主な災害」として台風第21号などの災害記録の掲載や防災講演など、災害の記録を伝えとともに、身を守る行動の大切さを啓発しています。

◆ 全国豊かな海づくり大会 ◆

大阪湾の魅力やおいしい魚介類を全国にアピールする絶好のチャンス

大阪で開催すべき！

Q. 西村議員 漁業者の方々から、「全国豊かな海づくり大会」の大阪開催を希望の声をよく耳にする。本大会は、将来の漁業の振興と発展を図ることを目的に1981年から開催されており(全国植樹祭や国体などの四行幸啓に位置付けられている)、大阪湾の魅力やおいしい魚介類を全国にアピールする絶好の機会となる。ぜひ大阪でも開催すべき。

A. 環境農林水産部長 大阪における本大会の開催については、2025年度に大阪・関西万博が開催の状況にあり、多額の経費や人員配置など多くの課題があることから、国や開催予定の府県等から情報収集を行ってまいります。

◆ 古墳群への理解を深める取り組み ◆

仁徳天皇陵古墳をはじめとする陵墓の偉大さ壮大さが十分に伝わっていないのではないかと

Q. 西村議員 本年7月に世界遺産に登録された、いわゆる百舌鳥・古市古墳群は陵墓が半数以上を占めるが、その形や大きさばかりを取り上げるのではなく、例えば「民のかまどは賑わいにけり」でよく知られています。第十六代仁徳天皇は、現在の堺市に陵墓が存在しますが、生前に居住し政治を執った場所は、難波高津宮と伝えられており高津宮は、現在の、大阪府中央区にあったと考えられ、府立高津高校の敷地内には石碑が建てられています。また、難波宮跡に隣接する法門坂遺跡の発掘調査では、極めて大型の建物跡が発見されております。この古事記からなる逸話は現在の大阪市内が舞台になったとも推測されています。当時の日本列島を統治した国の都が大阪にあったという時代背景や歴代天皇にまつわる逸話等も伝えることが大阪の魅力にもつながる。歴史間や逸話等への取り組みを進めるべきと考えるがどうか。

A. 府民文化部長 百舌鳥・古市古墳群が当時の王権の権力構造を示し、日本列島の歴史を物語る重要な証であることを理解いただくとともに、古墳にまつわる様々な言い伝えや歴史などを伝えるための取り組みを進めており、HPによる紹介や博物館における展示など、当時の暮らしや東アジアとの関係性などの情報を発信しています。

